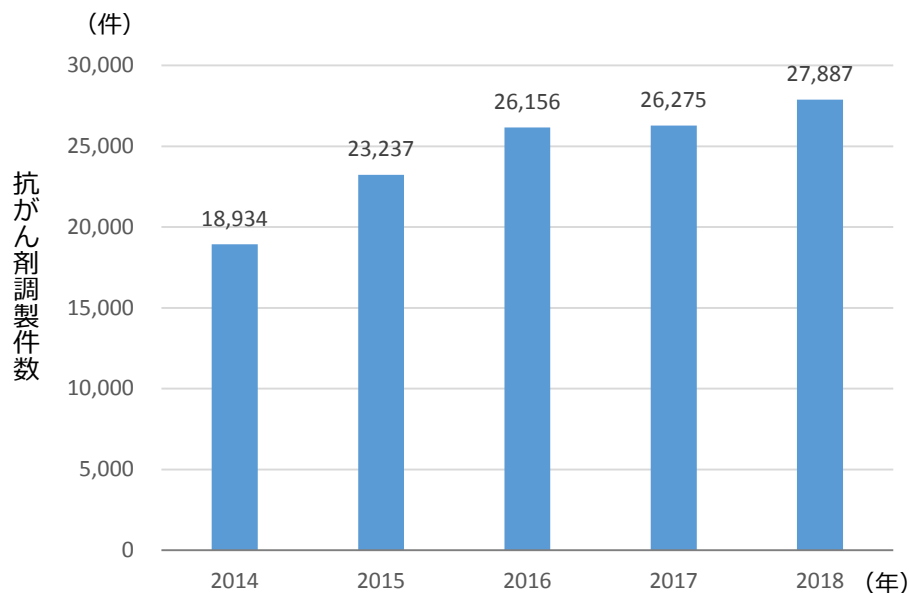


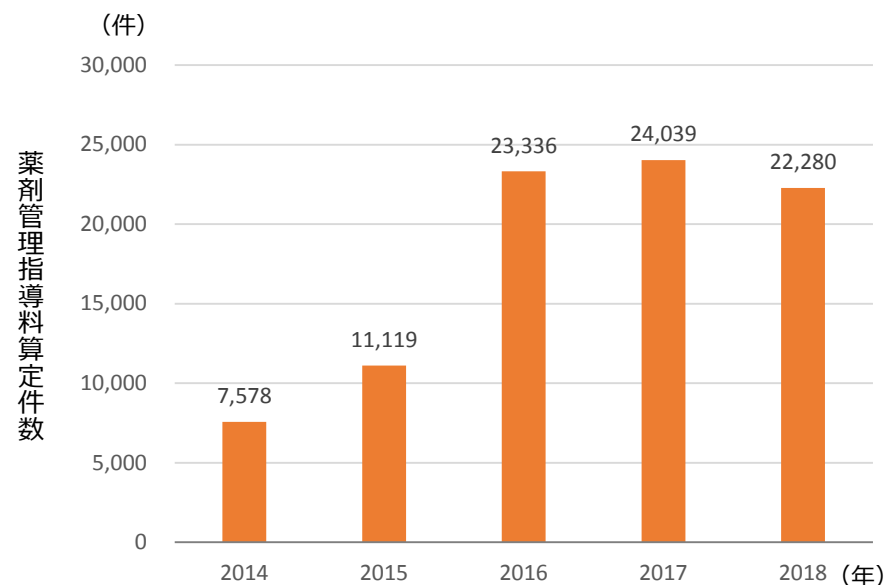
薬剤師による外来がん化学療法への支援



超高齢社会となり、がん患者さんは益々増加しています。がんの薬物治療は日進月歩で、従来は入院して十分な観察下で行われていた化学療法が普段の生活を続けながら外来で安全に行えるようになりました。

しかし一般薬と比べると、やはり抗がん薬は身体への影響が強い薬であることは変わりがなく、患者さんが安全に化学療法を受けていただけるよう薬の取扱いを熟知した薬剤師がその調製を行っています。

薬剤師による有効で安全な薬物療法の支援



新たな効き目をもった医薬品が続々と登場し、病気の治療が進歩しています。薬の効果が高まる一方で適切に使用しないと副作用のリスクが高まります。薬剤師は薬剤管理指導（服薬指導）を通じて薬の正しい使用方法や管理方法、予想される副作用などについて患者さん説明し、医師や看護師と協働して有効で安全な治療を提供できるよう努めています。